

1 学年だよ

令和3年10月7日(木)

夢の宅配便

1 年学年主任

水野 喜代治

「2組の合唱練習計画」

昨日の放課後に、パートリーダー・指揮者・伴奏者・実行委員が今日から始まる合唱練習計画を立てていました。集団で何かを取り組む時は計画を立てられていなければ前に進むことは出来ません。計画がしっかりしていれば、後はその計画をみんなで協力して実行していただけます。各クラスの練習計画がしっかり立てられているか心配でした。職員室で提出物のチェックをしていると米谷先生が「水野先生、2組はこのような練習計画をたてました。生徒は前向きによく考えています。」と満足そうな表情で私に計画表を見せてくれました。計画表には、まず目標として「2組しか作れない楽しいハーモニー」と書いてありました。また、パート練習の方法は、「①CDを流してパート練習をする。②パート内を分けて、アドバイスをしあう。③他のパートのCDを流して歌う。」と計画していました。また、「昼休みの練習は毎日行い、時間内で片付けもしっかり行う。5時間目の授業に絶対に遅れない。」などと書かれていました。昼休みの練習の後の5校時の授業に遅れないようにするところまで意識が出来たのは素晴らしいと思いました。2組は練習の計画がしっかり立てられているので、みんなで協力して取り組めば素敵な合唱に仕上がると思いました。

行事の時は、必ず入学してすぐにみんなで決めた学年目標と学級目標を意識し直してください。黄色学年のみんなの目標を意識し直してほしいです。みなさんは、4月から自分たちで立てた目標をすべて取り組んできました。もう一度確認しますね。学年目標は「楽しくみんなで協力できる黄色学年」、学級目標は1組「笑合助合」2組「2組が世界を変える」3組「全笑全助」です。この合唱という行事を通して各目標を達成できるように前に進んでください。

連載小説 第二編

「キヨたんの小さな小さなダイヤの指輪」

第4話…雨の日と花マル

兄の予想を見事に^{くつがえ}覆して、私は毎日、朝早く起きて庭を掃除した。自分でも信じられないほど、苦も無く五時半に目を覚まして、庭をきれいにした。何か神様が私の背中を押してくれているようにスムーズにカレンダーに花マルが増えていった。カレンダーの花マルをかぞえると、もう7個の花マルがついていた。兄も何も言わなくなった。庭を掃いていると隣の家の佐藤さんのおばさんが「キヨたん。毎日、お掃除して偉いね。キヨたんの^{ほうき}箒で掃く音が気持ち良いよ。続けることは立派なことだよ。キヨたんのお兄さんが、まだ保育園に行く前に、お父さんと一緒に薪を運んでいて、最後まで運び終えたのを見て感心したのを思い出したよ。小さな体で泣きながら運んでいたよ。でも最後まで何回も往復して薪を運んだよ。」と話してくれた。兄に負けるわけにはいかない。「おばさん、夏休み中、僕は頑張るとお母ちゃんと約束したんだよ。ウルトラマシンが僕を呼んでいるからね。それと僕は泣きながら掃かないからね。」とおばさんに答えた。「偉いね。ウルトラマンが応援してるんだね。」とおばさんはウルトラマシンとウルトラマンを間違えて、垣根越しに大きな桃を一つくれて励ましてくれた。こんな感じで、近所のおばさん、おじさんたちも私が庭掃除をしていることを知って、道ですれ違うと「キヨたん、庭掃除しているんだって。いい子じゃないか！もう、イチジクを勝手に取って食べちゃダメだよ。」などと声をかけられた。

夏休み8日目、朝起きたらザーッという雨音が聞こえた。「雨だ！掃除できない！」いつもより雨音で少し早く起きた私は困惑した。ガラス越しに庭を見ると池のようになって、葉っぱが川のようになった庭で流されていた。「掃除できない。」と小さな声で再び^{つぶや}呟いた。五十円がもらえないことより、カレンダーに花マルがもらえないことが寂しかった。目が覚めた私は、裏庭にでてみた。裏庭は、屋根だけ取り付けられて、駐輪所にもなっている。母の自転車に激しい雨が吹き込んで、濡れていた。「お母ちゃんが、喜んで買った自転車が濡れている。」ハンドルやサドルが濡れている自転車を見ると、買ってきて「喜代治！ピカピカの自転車だよ！」と嬉しそうに私に話しかけた母の顔が思い返された。「お母ちゃんの自転車濡れちゃっている。」一言呟いで、母がかわいそうになった。私は、布切れで、雨を夢中でふき取った。「お母ちゃんに自転車が濡れたところを見せてはだめだ……。」と素早くハンドル、サドル、タイヤとふき取った。すべてふき取ると自転車を雨に濡れない位置に移動して、裏口から家に入った。台所で母がいつものように味噌汁を作っている。「おはよう」と母に声をかけて、カレンダーを寂しい気持ちで見ると今日の日付に花マルがついていた。「お母ちゃん、今日は雨だよ！カレンダー間違っているよ。」と母に迫った。「今日は、雨だけど。お母ちゃんの自転車がね。喜代治に「ありがとう」って言ってるから花マルあげました。」と笑って言った。「えっ！花まる、もらえるの。バンザイ！よかった。カレンダー全部花マルにして100点取りたいんだ！」と飛び上がって喜んだ。こうして、雨の日は、母の自転車を磨くと花マルがもらえることになった。 つづく